

B-78 各種洗剤の比較比較 (第6報)  
活性剤混合による洗浄力

大阪市立大 島崎 斐子  
○笹山 益子

1. 各種タイプの洗剤が市販されているが、それら洗剤の併合または混合の場合における洗浄力を検討するために、タイプの異なる2種の界面活性剤を選び、本実験をおこなった。

2. 非イオン活性剤としてポリオキシ・エチレン・アルキル・エーテル、アニオン活性剤としてはアルキル・ベンゼンスルホン酸 Na 塩を種々の割合に混合し、これにピロリン酸カリウムあるいは、ピロリン酸ナトリウムを5, 10%に配し、その洗浄効率をみた。洗浄試験は洗浄力委員会の方法によった。

3. 前報では2種の界面活性剤の混合による洗浄試験をおこなったが、混合による効果は認められなかった。本実験において、これに添加物を配したが、相乗効果は認められず、活性剤単独のものがよかった。

洗剤の濃度に関しては、ピロリン酸ナトリウムの配合においては濃度間に有意差があったが、ピロリン酸カリウムでは有意差は認められなかった。